

避難所の指定について

1 経緯

約 3 千人が働いている工業団地内に避難所がなく工場稼働時に被災した場合、避難所（旭川小学校）が遠い点について、工業技術センターとして懸念していたこと。

2 旭川市の現状

- ・市内各小学校、公民館及び武道館などを避難所として指定し、備蓄品を収納している。
- ・この地区は、日の出公園（センター裏の公園）や旭川小学校を避難場所に指定しているが、工業団地内に屋内の避難場所はない。
- ・動物園で被災した場合、一番近い避難場所は、旭川小学校になる。

3 避難場所候補 会議室，視聴覚室，応接室

4 懸念材料

- ・震災が落ち着き経済活動が再開する際に、当センターに避難している人が残っていた場合、災害の状況によって、避難場所の解除される順番が異なるため、優先的に工業技術センターの避難場所を解除することはできない。
- ・不特定多数の避難者を受け入れることになり、工業団地で働いている人のみ受け入れるなどの指定はできない。